

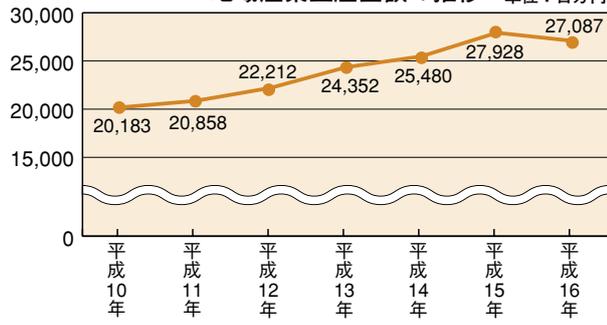


原稿執筆者
まちかど特派員
瀬古 彰司

人々の健康に奉仕して 甲賀地方の地場くすり産業が躍進

毎年10月17日～23日は「くすりと健康の週間」として薬への理解と正しい使い方を消費者へ普及する活動が行われました。甲賀には早くから健康と幸福に貢献している300年の伝統を誇る地場産業の「くすり」があります。今回は好況が伝えられているくすりの町にある滋賀県薬業会館を訪れました。

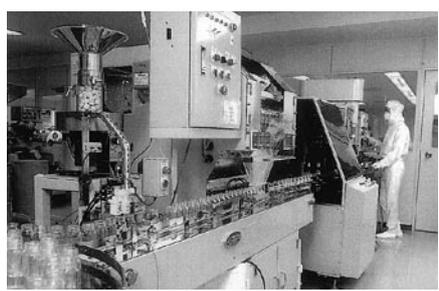
地場産業生産金額の推移 単位：百万円



滋 賀県は富山・奈良県に並ぶ配置薬生産県として発展してきましたが、時代の変遷により配置薬を取り巻く環境は厳しくなり、配置員の高齢化や後継者不足で衰退しつつあります。その中でも伝統の灯は消さない地域健康を支えるために頑張っておられる元氣な配置員もおられます。

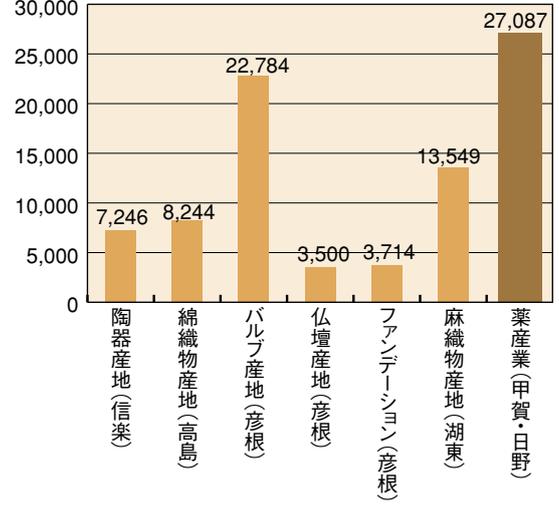
一方、甲賀地方(日野町を含む)の地場産業メーカーは、薬業法に基づく研究施設やGMP(医薬品の製造及び品質管理に関する基準)に適合した最新の製造設備に更新し、独自の製品の開発や委託を行い発展を図ってこられました。

県内の地場産業と呼ばれるものに「長浜のちりめん」彦根のバルブ・仏壇「東近江の麻織物」信楽の陶器「高島の織物」などの地場産業があります。平成16年の製造統計によると甲賀(日野)地方の製薬産業は配置薬、一般薬、医療用医薬品の生産額は県内の地場産業ではトップの座を占めるに至りました。(大手医薬品メーカーは除く)これは、数社のメーカーがジェネリック医薬品(後発医薬品とも呼ばれ先発医薬品の特許機関の終了後、安全で同じ品質で薬効も同じで安く製造されるため、国民医療の抑制に期待されている)を主力に、より安い医薬品を医療機関に提供することとなったためだそうです。



甲賀の地場産業である薬の製造工場

主な地場産業生産高 平成16年度生産額 単位：百万円



健 康産業といわれる製薬産業は日々研究と努力を重ね、知的産業として発展するこの産業は、薬価基準の見直しや、先発品の特許問題等の課題をクリアして逞しく成長してきました。

甲賀の伝統あるこの産業がますます発展し、甲賀地方のくすり在今后も全国の皆さんの健康に貢献し続けることでしよう。さらに消費者の皆さんにくすりへの理解を深めていただくために、(社)滋賀県薬業協会では「甲賀市と協力して広く薬に関することをPRするように努力していきます。」と大原会長さんは明るくお話しくださいました。